

令和4年度 第3回岡崎城跡整備委員会会議録

開催日時：令和4年11月30日（火）午後2時00分～午後4時30分

開催場所：岡崎市役所 福社会館2階 201

出席委員：8名

瀬口哲夫委員（委員長）・加藤安信委員（副委員長）・丸山宏委員

奥田敏春委員・堀江登志実委員

欠席委員：三浦正幸委員、中井均委員

説明のために出席した事務局職員：10名

社会教育課：福澤純子課長・鈴木幸宏副課長・菅沼貴之岡崎城跡係係長・

山口遥介主査・平山優主事

「どうする家康」活用推進課：吉村係長

観光推進課：谷分信隆係長

公園緑地課：近藤係長、森主査

傍聴者：なし

次第

1 議題

- ・ドラマ館周辺装飾について
- ・岡崎城跡菅生曲輪利用について
- ・藤棚売店について
- ・岡崎公園内の公園灯更新について
- ・岡崎城跡南切通し整備について

議事内容

1 議事 ドラマ館周辺装飾について

（1）

事務局：配布資料①に基づき説明（吉村係長）

【質疑応答】

意見 華美なものではなく、家紋等確認すること。

（2）菅生曲輪利用について

事務局：配布資料②に基づき説明（岩瀬）

【質疑応答】

委員：トレーラーハウスの階段は登れるようになるのか。柵があるが、小さい子供に対しての安全策は。

事務局：パイプを設置し、安全確保する。

委員：もたれかかった時の荷重は問題ないか。

事務局：構造については確認をとっている。上った時の安全性注意喚起はしている。

委員：櫓ベンチのイメージは。

事務局：日除けのついたベンチです。櫓のような構造をしているため、そのように名づけている。櫓を組んだような構造である。

委員：本来の櫓とイメージが違うのでどうかなと思う。

委員：ユニットハウス1と2の違いは。フードだと休息場所が遠いが良いか。

事務局：1は飲食、2は物販の予定。

委員：堀の上であるので、加重がかかった場合に沈むことが無いようにしてもらいたい。

委員：幟は出ないのか。

事務局：0とはならないが、最小限にとどめる。

委員：華美なものはやめてほしい。デザインはいいが色については配慮するように。

委員：室外機があるが隠せるか。

事務局：囲いにより隠すようにする

委員：配置図みるとピクニック広場、ベンチエリア等あるが、滞留できる組み合わせをしてもらいたい。来場者がどう楽しめるかももう少し考えてほしい。

事務局：行政と相談しながら考えていく。

委員：堀が描いているが今回はそのままか。

事務局：そうです。

委員：その後は。

事務局：今回は暫定整備のため、最終的には詳細設計をし、平面表記等検討していく。

委員：以前の計画は。

事務局：以前の計画を基に詳細設計を進めていく。

(3) 藤棚売店について

事務局：配布資料③に基づき説明

委員：市の史跡である限り、貴重な場所に商業施設を恒久的になるのではなく、今回だけであることとするように。籠田公園の施設は不要とあるが良いか。

事務局：藤棚売店跡地は公募した結果、優先交渉権ものが辞退したため、募集要項からすればすでに始まっているものである。なので簡易的に籠田公園のボックスを設置するものである。

委員：恒久的なものを建てようと考えていることは駄目、あくまで仮設としていかないといけない。

事務局：整備を行う際には移転することは募集要項にも記載している。

(4) 岡崎公園内の公園灯更新について

事務局：配布資料④に基づき説明

委員：古い公園灯なので量が多いが、新しくするのなら本数も検討する方が良いのでは。公園全体の照明計画の中で検討してもらいたい。

事務局：その点も検討していく。

委員：次回の委員会で計画に基づき図示してほしい。

委員：電球色の3,000ケルビンはどのような経過で導いたのか。

事務局：現在の公園灯が200Wものと同等品としている。

委員：少し暗いのではないかと思うが。

事務局：暗めには移るかもしれないが、LEDなので見えやすく光ると聞いている。

委員：電気代としてはどうなるのか。節電されるのか。

事務局：台帳から概算をしているので的確な数字は出ていない。

委員：再生エネルギーを利用する考えはないか。

事務局：LEDの変更理由は水銀灯が製造、販売がないため切れた場合取り換えるすべがないことから変更するものである。

(5) 岡崎城跡南切通し復旧工事について

資料5に基づいて事務局より説明

委員：コンクリート柵の美装化はどういうものか。

事務局：柵の3面をすり板材で表面を囲う形にする。

委員：板材では持たない。コンクリート面にモルタルで洗い出しをした方が良いと思う。見た目もそのような形が良い。それか、表面を削る形で美装化を図った方が良い。

委員：切株部分に植生マットがないがどうするのか。

事務局：極力地上部の切株は撤去し、植生マットは設置する。

委員：切株をとったところの穴を鋼土などで埋めていった方が良いのでは。植生マットを敷いた時にいつまでも穴が開いている状況になる。他の城郭でもそのようになっている。

事務局：前向きに検討する。

委員：工事はいつから開始か。大河ドラマが始まると人が多いが大丈夫か。植生マットは何か。

事務局：植生マットは既製品では樹木の種が入っているマットだが、メーカーにお願いして、種を抜いて自然の草が生えるような形で進めていく。工事は年明けから行う予定です。桜祭り開始前には通行が可能となるように計画している。ドラマということは意識していましたが、当初より桜祭り開始前ということで進んでいる。

委員：透水性土嚢と記載があるが、水がそのまま下にいくので、透水性ではなく崖側に水を通さない方が良いのでは。また、オーバーハングしているところがあるので植生マットの前に鋼土などで押さえていく必要があるのでは。また、吹き付けなどは考えていないのか。豊田市の鞍ヶ池公園でそのような事例がある。また、張芝の箇所があるが、張芝工ではなく、筋芝工の方が良いと思う。張芝でははがれていく。

事務局：透水性土嚢はあまり水を通さないようにし、ここに排水管があるようにしているので、東隅櫓の方まで行くようにしたい。斜面について、オーバーハングしているように見える箇所について、先程ご指摘いただいた鋼土はやせ細った箇所に入れるということで良いか。ここに10cm程の鋼土をいれ筋芝工ということで良いか。

委員：はい。

事務局：菅生川端石垣で張芝をしたが、根付くが一部土が流れる箇所があるため、検討していきたい。吹付については検討したが、斜面の地耐力を考え、今回の工法でも問題ないと判断している。